

# 好ききなことはなあに

## お願い

この冊子は、主として小学校高学年(5, 6年生)を対象として平成16年1月に作成しました。

男女共同参画の推進の必要性を十分認識され、この冊子を用いて、子どもたちとともに、男女共同参画社会とはどんな社会なのか、どうしたら男性も女性も誰もがいきいき暮らせるのかなどについて考える時間にしていただきたいと思います。

本時の活動を提示しますが、これはあくまでも展開例ですので、先生方で研究の上、授業等を組み立てたり、補助プリント等を作成してみてください。

また、授業等でこの冊子をお使いいただき、気づかれたことや御感想をお寄せいただければ幸いです。

## 1 活用に当たって

### ○テーマ

自分らしさの発見(個人の尊厳)

### ○解説

- 子どもたちは、日常生活の中で、男の子だから女の子だからこうあるべきだと決めつけられることに対して、違和感を覚えながらもそのまま受けとめてしまっていることが多い。そして、だんだんと当たり前のこととして受け入れられるようになってしまう。  
いろいろなことに疑問を持ち、考えていこうとするこの時期の子どもたちにとって、男らしさや女らしさという決めつけのなかに隠されているジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)に気づかせることは、大切なことと考える。
- 自分たちの周囲にある「男だから」「女だから」こうしないといけないという考え方の多くが、社会的・文化的に作られてきた性別による固定的な役割分担に基づくものであることに、ひかるとじゅんの会話を通して気づかせたい。

## 2 活用例

### ○活用上の位置付け

第5学年 総合的な学習の時間・学級活動

### (1) 題材名

好ききなことはなあに

### (2) ねらい

これまで気づいていなかった自分の「好きなところ」「よいところ」を発見することを通して、一人一人のちがいを認め合い、お互いが自分にはかけがえのない存在であることに気づかせたい。

(3)展開例

学 習 活 動	教師の指導・支援のポイント
<p><b>1 会話資料を読む</b></p> <p>資料を読んで話し合う 「ひかるとじゅんのやりとりについて、あなたは どう思いますか。話し合ってみましょう」</p> <p>(1) 自分たちにも同じような経験はなかったか考える</p> <p>○ 服装・言葉遣い・性格等</p> <p><b>【ワークシート1】の利用</b></p> <p>(2) そのときの気持ちを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・どうして</li><li>・何でそんなこと言うのかな</li><li>・そんなこと決められたくない</li><li>・だれが決めたの？</li><li>・いやだな</li><li>・自分のことは自分で決めたい</li></ul> <p><b>【ワークシート2】の利用</b></p> <p>(3) 自分の好きなこと(得意なこと)や自分のよいところを書いてみる</p> <p><b>2 本時のまとめをする</b></p>	<p>○ひかるとじゅんの会話を参考に男の子だから、女の子だからと言われて釈然としなかった経験を出し合い、男らしさ、女らしさという概念が存在していることに気づかせたい。</p> <p>○男だから、女だからと言われたときの気持ちなどを自由に出し合う中で、「何かおかしいのではないか」「そのままでいいのか」という考えを持たせたい。</p> <p>○ひかるとの会話の中の「ふふ」の意味は？（「自分のよい所を言ってもらえてうれしかった」等が一般的であるが、女性としての自分が「はきはきしていてリーダーシップがある」ことの皮肉なおかしさを通して、世間一般の考え方に気づかせることができる）</p> <p>○男だから、女だからという考え方に対し肯定的な考えが出た場合は、その意見をきっかけにして、さらに深めていく。</p> <p>○自分のよいところは、恥ずかしくてなかなか言えないと思われるが、クラスの実態をふまえ、教師自身の体験談等話しながら、子どもたち一人一人が自分をみつめ、自分のよさや得意なこと、自分らしさを自覚できるようにしたい。(グループ内での学習も可能)</p> <p>○男と女では、身体的な違いはあるものの、得意なこと、苦手なことは誰にでもあることに気づき、一人一人のよさや努力を大切にする気持ちを持たせたい。</p>

**こんなこといわれたら？**

1 もし、あなたが次にあるようなことを言われたら、どう思いますか。

女の子だからもっと、おとなしくしたら

-----  
-----

男の子だからもっと、しっかりしなさい

-----  
-----

男の子だから、そんなことで泣いてはいけない

-----  
-----

女の子だから、やさしいことばづかいをして

-----  
-----

2 今日の学習で思ったこと、考えたことを書きましょう。

-----  
-----

**自分についてみつめてみましょう**

**あなたはどんな人ですか？**

1 自分にあてはまると思うものに○をつけてみましょう。得意に思っていることでもいいです。

体をうごかすことが好き(スポーツをすることが好き)	
ゲームをするのが好き	
車など乗り物が好き	
一人で静かに過ごすのが好き	
お料理をつくるのが好き	
そうじをするのが好き	
読書をするのが好き	
ぬいものや手芸をすることが好き	
楽器などを演奏するのが好き	
小さい子やお年よりのめんどうをみたり人のお世話をしたりするのが好き	
模型をつくったりものをつくったりするのが好き	
人の先頭に立って行動することが好き	

2 そのほかに、好きなこと・得意なことがあったら書きましょう。

-----  
-----

3 今日の学習で思ったこと、考えたことを書きましょう。

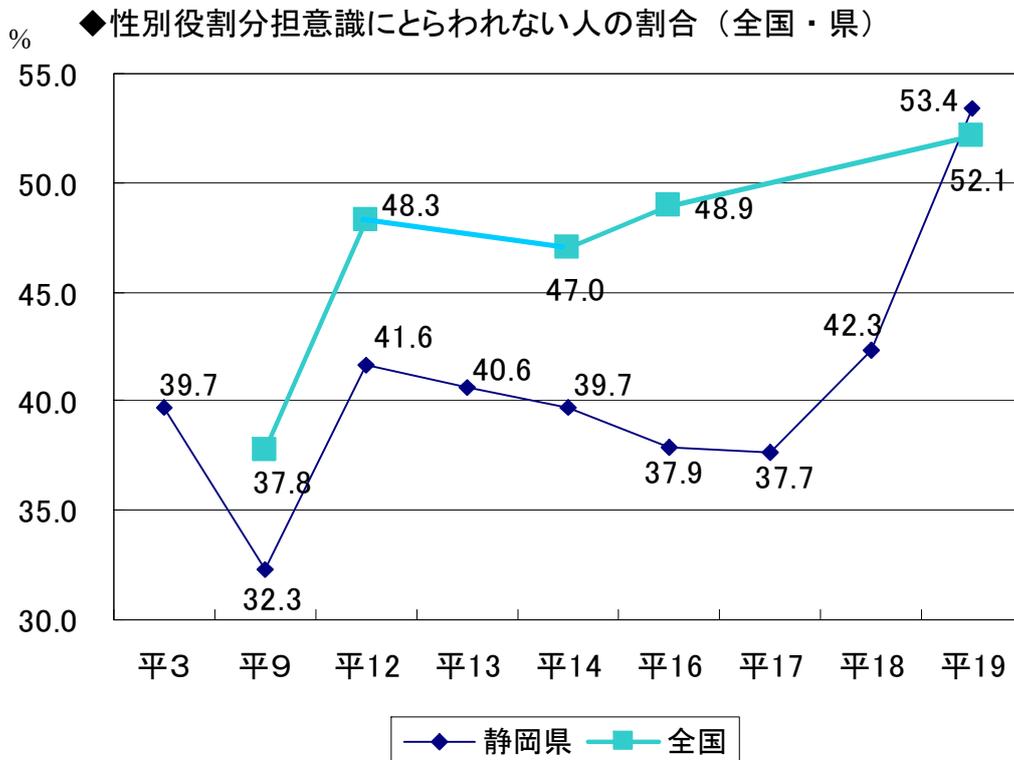
-----  
-----

好きなことはなあに

1 性別による固定的役割分担意識

○性別による固定的な役割分担意識にとらわれない人はまだ半数

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担を前提とする考え方に対して「同感しない」と思う人(反対派)は、本県の場合53.4%で、はじめて全国(52.1%)を上回りました。



資料: 県政世論調査(H3, H12, H14, H19)

静岡県の男女共同参画に関する調査(H9)

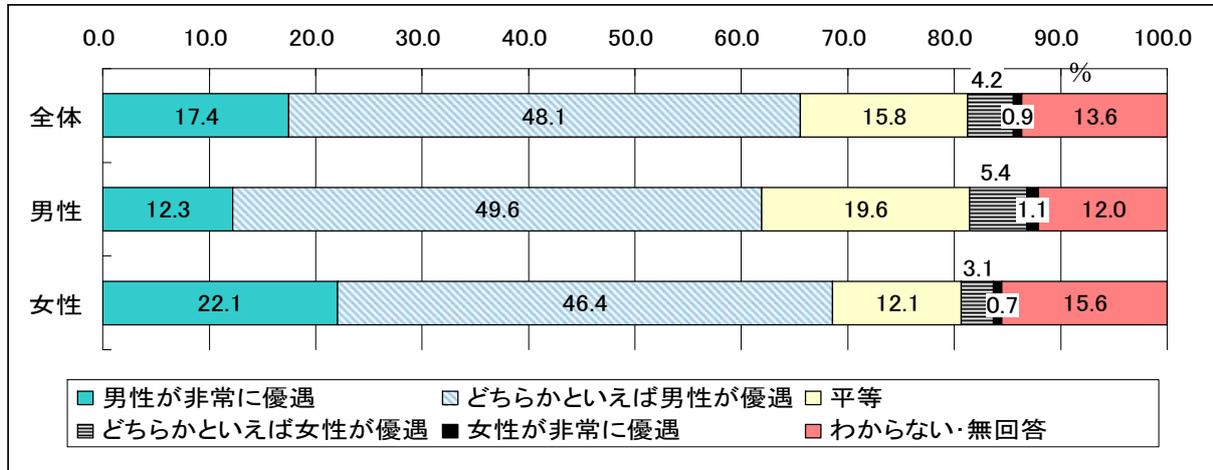
静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H13, H16, H17, H18)

内閣府「男女共同参画に関する世論調査(H9, H12, H14, H16, H19)

## 2 社会における男女の平等感

○職場において“男性が非常に優遇されている”と感じている割合は女性のほうが圧倒的に高い

職場における男女の平等感を男女別にみると、“男性が優遇されている”と感じている人の割合は男性61.9%、女性が68.5%であり、その差は6.6ポイントに過ぎません。ところが、“男性が非常に優遇されている”と感じている人の割合を見ると、男性は12.3%、女性は22.1%と、その差は9.8ポイントに跳ね上がります。



資料：静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H18)

○男性優遇の社会と考える人が約7割

県民意識調査の結果、男女の平等に関して、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」と考えている人を合わせると7割を越え、現在の社会は男性優遇の社会であると考えている人が多くなっています。

### 〔社会全体でみた男女の平等感〕

男性優遇	男性が非常に優遇されている	7.5%	70.8%
	どちらかといえば男性が優遇されている	63.3%	
平等			17.5%
女性優遇	どちらかといえば女性が優遇されている	5.6%	6.0%
	女性が非常に優遇されている	0.4%	
わからない・無回答			5.6%

資料：静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H18)

## [平成13年度と平成18年度の比較]

### ●家庭生活で

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない・無回答
平成13年度	12.4	50.1	23.8	7.1	3.7	2.8
平成18年度	9.1	47.9	28.6	8.1	1.1	5.3

### ●職場で

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない・無回答
平成13年度	19.2	46.8	15.8	4.0	9.2	5.2
平成18年度	17.4	48.1	15.8	4.2	0.9	13.6

### ●政治の場で

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない・無回答
平成13年度	29.9	44.7	11.0	1.1	0.1	13.2
平成18年度	25.3	41.9	19.3	1.9	0.2	11.4

### ●法律や制度の上で

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない・無回答
平成13年度	12.3	38.4	26.4	4.1	0.7	18.2
平成18年度	11.1	29.6	34.7	8.1	0.5	15.9

### ●社会通念・慣習・しきたりなどで

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない・無回答
平成13年度	23.9	52.4	10.6	2.5	0.9	6.6
平成18年度	22.1	55.3	11.8	3.2	0.2	4.6

資料: 静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H13、H18)